

めぐみイエス・キリスト教会

2018年11月25日(日) 第四主日礼拝
週報「通算第433号」



2018年標題聖句

使徒の働き27章22節～26節

《「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、命を失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。』》

| | | |
|----------|-------|---------------|
| 第一礼拝 | 毎週日曜日 | 午前10時～11時 |
| 第二礼拝 | 毎週日曜日 | 午後6時～6時45分 |
| 聖書研究・祈祷会 | 毎週水曜日 | 午後6時15分～7時15分 |

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年11月25日(第四主日礼拝)

第一礼拝 午前10時～11時

第二礼拝 午後6時～7時

司会(奏楽) 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌209「慈しみ深き」 p. 316

【交読文】 No.22 詩篇第65篇 p. 896

【賛美Ⅱ】 新聖歌99「まぶねの中に」 p. 139

【使徒信条・主の祈り・先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.4「天には救いの喜び満ち」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書16章25節～28節(新約p. 196)

【祈 禱】

【説 教】 《父について》

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所【ヨハネの福音書16章25節～28節】

16:25 「これらのことを、私はあなたがたにたとえで話しました。もはやたとえでは話さないで、父についてははっきりと告げる時が来ます。

16:26 その日には、あなたがたは私の名によって求めるのです。私はあなたがたに代わって父に願ってあげようとは言いません。

16:27 それはあなたがたが私を愛し、また、私を神から出て来た者と信じたので、父ご自身があなたがたを愛しておられるからです。

16:28 私は父から出て、世に来ました。もう一度、私は世を去って父のみもとに行きます。」

●ポイント1 最初の解き明かし

※ヨハネの福音書8章53節～58節「ユダヤ人の質問に対して」(新約p.178上)

●ポイント2 二回目の解き明かし

※ヨハネの福音書14章7節～11節「ピリポの質問に対して」(新約p.191下段)

14:8 ピリポはイエスに言った。「主よ。私たちに父を見せてください。そうすれば満足します。」

14:9 イエスは彼に言われた。「ピリポ。こんなに長い間あなたがたといっしょにいるのに、あなたは私を知らなかったのですか。私を見た者は、父を見たのです。どうしてあなたは、『私たちに父を見せてください。』と言うのですか。

14:10 私が父におり、父が私におられることを、あなたは信じないのですか。私があなたがたに言うことばは、私が自分から話しているのではありません。私のうちにおられる父が、ご自分のわざをしておられるのです。

14:11 私が父におり、父が私におられると私が言うのを信じなさい。さもなければ、わざによって信じなさい。」

●ポイント3 主イエス様こそ、真の神様

※ピリピ人への手紙2章8節～11節「すべての名にまさる名」(新約p.352上段)

2:6 キリストは、神の御姿であられる方なのに、神のあり方を捨てることのできないとは考えないで、

2:7 ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられたのです。

2:8 キリストは人としての性質をもって現われ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われたのです。

2:9 それゆえ、神は、キリストを高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。

2:10 それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが、ひざをかがめ、

2:11 すべての口が、「イエス・キリストは主である。」と告白して、父なる神がほめたたえられるためです。

※コロサイ人への手紙1章13節～18節「御子(主)によって」(新約p.357下段)

◎先週のメッセージの概要【私の名によって求めなさい】

《「その日」とは、イエス様がよみがえられる復活の日のことを指しています。その時、弟子たちは、本当にイエス様が神の御子であること、メシアであることを身をもって体験するのです。もちろん預言であり、これから成就します。

さてイエス様は、「あなたがたが、父に求めることは何でも、父は私の名によってそれをあなたがたにお与えになります。」と言われました。

かつて弟子たちがイエス様に、「主よ。ヨハネが弟子たちに教えたように、私たちにも祈りを教えて下さい。」と願った時に、イエス様は彼らに「主の祈り」を教えられ、その時から彼らは、天の父に祈ることを覚えたのです。

主が「私の名によって」と言われたのは、二回目です。最初は、「私は、あなたがたが私の名によって何かを私に求めるなら、私はそれをしよう。」と言われ、このことからご自身が父と同じ方であることを、明らかにされたのです。

さて、「あなたがたは今まで、何も私の名によって求めたことはありません。求めなさい。そうすれば受けるのです。」と言われました。

山上の垂訓において、かつてイエス様はこのように教えられました。「求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。だれであれ、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。天におられるあなたがたの父が、どうして、求める者たちに良いものを下さらないことがありましよう。」と。

使徒パウロは、はっきりと述べています。『私たちすべてのために、ご自分の御子をさえ惜しまずに死に渡された方が、どうして、御子と一緒にすべてのものを、私たちに恵んで下さらないことがありましよう。』と。

天の父なる神様は、主イエスを信じる者には、「最も良い物」を、その人にとって「最高の物」を、主イエス様と共に与えて下さるのです。神様は良いお方であり、善なるお方なのです。しかし、それぞれに成就の時があります。「約束のものを手に入れるために必要なのは忍耐です。その忍耐を完全に働かせなさい。」と、ヘブル人への手紙の著者が勧める通りなのです。》

◎お知らせ

※次回の礼拝は、12月2日(日)です。通常通り、第一礼拝は午前10時から、そして第二礼拝は午後6時から行ないます。次回の祈禱会は、12月5日(水)午後6時15分からです。また、11月28日(水)の祈禱会はお休みします。